

人をつなぐ 未来へつなぐ 市川の教育

教育いちかわ



「教育いちかわ」
10月15日号
市川市教育委員会

30th
ANNIVERSARY

市川市生涯学習センター30周年記念 「メディアパーク 30 祭」開催

平成6年11月1日に開館した生涯学習センター(メディアパーク市川)は、市民の皆様に支えられて、今年開館30周年を迎えます。

生涯学習センターは、1階に市民の書斎としての「中央図書館」とこどもの総合レクリエーションセンターである「中央こども館」、2階に多目的スタジオやビデオ・レーザーディスク、ハイビジョンソフトなどを鑑賞できるブースやホール、自分で映像や音響資料を制作できる機材などを揃えた「映像文化センター」、3階には東山魁夷画伯から寄贈されたリトグラフなどの展示を行う「東山魁夷アートギャラリー」と子どもの教育に関する相談や教職員の研修等を行い生涯学習の基礎づくりをサポートする「教育センター」といった複数の施設がある、名前通りあらゆる世代の方々の生涯学習を支援する施設としてスタートしました。

その後、平成17年に旧東山画伯邸に「市川市東山魁夷記念館」が開館したことから、東山魁夷アートギャラリーが閉室。また、同年に施設の3階に「文学プラザ」が開設。

平成25年には、文学プラザと映像文化センターを統合し、永井荷風や井上ひさし、水木洋子といった市川市ゆかりの文学者に関する調査研究や資料収集・展示などを行う「市川市文学ミュージアム」として生まれ変わりました。

現在は中央図書館、中央こども館、文学ミュージアム、教育センターの4つの施設がある複合施設となっています。



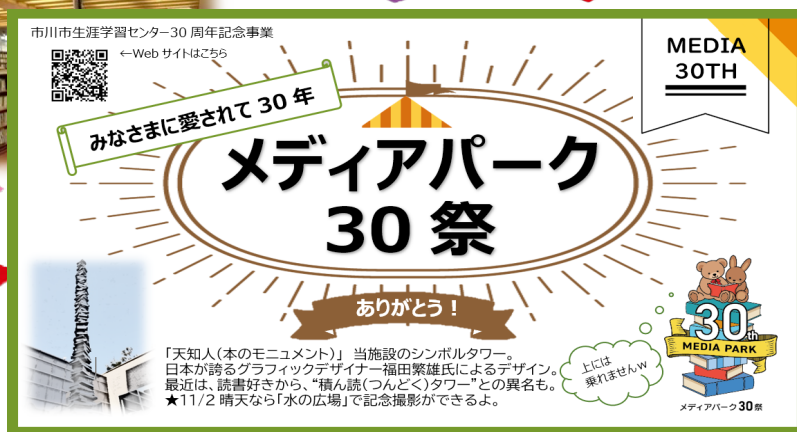
メディアパーク30祭

今回 30 周年を迎えるにあたり、10 月から 11 月の間は「つなごう、いちかわの学びの輪」をテーマに、生涯学習センター全体で「メディアパーク 30 祭」と銘打った多彩なイベントを実施しています。



《30 周年を迎えた中央図書館》

チラシはこちらから



各施設で主催する記念イベントの例として、11 月 2 日は普段では見ることのできない生涯学習センター施設の裏側を巡る「トワイライトバックヤードツアー」や司書がテーマ別に選んだ本を詰めた「こどもとしょかんラッキーバッグ」、参加者が持参したおすすめ本の交換会「本でわらしべ長者」など、様々なイベントを用意しています。11 月下旬にはこどもに大人気の「おばけずかん」シリーズで有名な市内在住の作家宮本えつよし氏をお呼びし、子ども自身がおばけの洋服を創作する「おばけファッションショー」のワークショップを開催予定です。



また、令和 5 年度から図書館で募集している「市民提案型企画」を拡大、メディアパーク 30 祭には、市民提案型イベントとして 5 つの企画が参加します。例えば、いちかわのほほん古本市実行委員会が企画した「いちかわのほほん古本市」が 11 月 2 日に催されます。このイベントでは、古本市やぷちマルシェのほか、大人から子どもまでを対象としたコラージュ川柳、押し本語り、市川民話の会などの催しが予定されています。



時代や環境の変化のある中で、生涯学習センターは今後も、市民の皆様のライフスタイルにあわせて誰にとっても心地の良い、人の集まる空間として、より良いサービスの提供を追及してまいります。30 周年を迎える市川市生涯学習センターの今後にご期待ください。

【中央図書館】